■□＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝
□
株式会社 京浜予防医学研究所

■□　ＫＭＬメールニュース　□■　　◆◆　VOL.31　◆◆

□
＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝□■

□■
株式会社 京浜予防医学研究所 よりお知らせ致します！
2010年　5月 15日発行
□■ http://www.kml-net.co.jp/

ＫＭＬメールニュースVOL.31をお送り致します。
お忙しい事とは存じますが御一読いただきまして、先生方の
一助として頂ければ幸いでございます。

☆★　トピックス　★☆

【１】食物アレルギーの疫学調査（原因食物）
【２】感染症トピックス：食中毒にご注意を
【３】検査項目情報：ＴＡＲＣ
(thymus and activation-regutated chemokine)
【４】ＫＭＬインフォメーション　3月～4月分のお知らせ

## １　食物アレルギーの疫学調査（原因食物）

即時型食物アレルギーの疫学調査は平成10年から定期的に行われ、
平成17年の調査結果では原因食物の頻度は従来と変わらず、鶏卵、
乳・乳製品、小麦が3大アレルゲンで、以下はイクラ、ピーナッツ、
エビ、ソバ、キウイ、大豆、カニと続きます。

これら原因食物の頻度は年齢によって大きく異なります。
乳幼児では鶏卵が約60%、乳・乳製品が約20%を占めますが、学
童期になると鶏卵は減り小麦や甲殻類が増えてきます。
成人になると小麦、甲殻類、果実類（キウイ、バナナ、リンゴ、
モモ、メロンなど）が3大原因食物で全体の約50%を占めます。

食物アレルギーにおいて原因食物の正確な診断は重要で、疫学調
査のデータを診断のお役に立てて頂ければ幸いに存じます。

年齢別主な原因物質
（平成17年度厚生労働科学研究報告書／食物アレルギーの診療の
手引き2008より）

| | 0歳 | 1歳 | 2～3歳 | 4～6歳 | 7～19歳 | 20歳以上 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 鶏卵 62% | 鶏卵 45% | 鶏卵 30% | 鶏卵 23% | 甲殻類 16% | 甲殻類 18% |
| 2 | 乳製品 20% | 乳製品 16% | 乳製品 20% | 乳製品 19% | 鶏卵 15% | 小麦 15% |
| 3 | 小麦 7% | 小麦 7% | 小麦 8% | 甲殻類 9% | そば 11% | 果物類 13% |
| 4 | | 魚卵 7% | そば 8% | 果物類 9% | 小麦 10% | 魚類 11% |
| 5 | | 魚類 5% | 魚卵 5% | ピーナッツ 6% | 果物類 9% | そば 7% |
| 小計 | 89% | 80% | 71% | 66% | 61% | 64% |

※5%以上を占める上位5抗原の小計

## ２　感染症トピックス：食中毒にご注意を

夏は食中毒が多発する季節です。原因となる菌としてサルモネラ・赤痢・ビブリオ・病原大腸菌・カンピロバクターなど様々あります。
今回はサルモネラ、腸炎ビブリオについてご紹介いたします。

１．サルモネラ(Salmonella)とは？
2類感染症である腸チフス(S.Typhi)・パラチフス(S.paratyphi A)や胃腸炎などの原因菌です。

〈 特徴 〉
- 小児や老齢者は感受性が強く数十個の菌量の感染でも発症します。
- 低温や乾燥に強い性質を持ちます。

〈 原因食品 〉
- 牛・豚・鶏などの食肉
- 鶏卵　(近年、サルモネラ汚染率が増加し卵内から検出されることもあります)

〈 症状 〉
- 喫食後12時間から48時間までに吐き気・腹痛を引き起こします。
- 38度くらいの発熱・下痢の繰り返しを起こします。

〈 予防法 〉
- 肉類・卵は十分に加熱料理し、生肉は食べない。
- 検便による保菌者の発見　(健康保菌者による汚染例が多い)。
- ペットなどに触れたら手洗い励行。

２．腸炎ビブリオ(Vibrio parahaemolyticus)　とは？

〈 特徴 〉
- 海水や海中の泥中に潜みます。
- 塩水を好むが真水には弱いです。
- 増殖能力に優れており、短時間で増殖するが熱に弱いです。

〈 原因食品 〉
- 魚や貝などの海産物、漬物（二次感染）

〈 症状 〉
- 激しい腹痛と下痢。特に腹痛はさしこむような激痛です。

〈 予防法 〉
- 魚介類などは加熱して食べる。
- 調理する際は魚介類を真水でよく洗う。
- 調理器具などよく洗い、熱湯で殺菌する。

これからの季節、食中毒が多発すると思われますので準備の程をよろしくお願いします。

************************************************************

| コード | 検査項目 | 保険点数 | 所要日数 | 検査容器 |
|---|---|---|---|---|
| ０７８ | 赤痢<br>サルモネラ<br>ビブリオ | 140点 | 3～5日 | 便培養用容器<br>容器番号：33 |
| ０８９ | 赤痢<br>サルモネラ<br>ビブリオ<br>病原性大腸菌 | 180点 | 3～5日 | 便培養用容器<br>容器番号：33 |
| ０１８ | カンピロバクター | 80点加算(注) | 3～5日 | 便培養用容器<br>容器番号：33 |

（注）病原性大腸菌を併せて行った場合は算定不可

************************************************************

## ３　検査項目情報：ＴＡＲＣ
(thymus and activation-regutated chemokine)

〈　ＴＡＲＣとは　〉

TARC (thymus and activation-regutated chemokine)
白血球走化に関するケモカインの一種です。
アトピー性皮膚炎では、様々な刺激によって皮膚の表皮角化細胞からのTARC産生が亢進します。このTARCが炎症を引き起こすTh2細胞（リンパ球の一つ）を病巣部へ引き寄せ、集まったTh2細胞によりアレルギー症状が憎悪すると考えられています。

＜　有用性　＞
・アトピー性皮膚炎において、従来の検査（総IgE、LDH、好酸球）に比べて、感度・特異度が高く、皮膚症状の変化をより反映します。
・アトピー性皮膚炎の重症度評価や治療評価判定に客観的な指標となります。

*******************************************************

| | | |
|---|---|---|
| 検査項目 | : | ＴＡＲＣ |
| 検体量 | : | 血清0.4mL |
| 保険点数 | : | 200点 |
| 検査判断料 | : | 144点（免疫学的検査） |
| 所用日数 | : | 4～8日 |
| 基準値 | : | 小児（6～12ヶ月）1367pg/mL未満 |
| | | 小児（1～2歳）　998pg/mL未満 |
| | | 小児（2歳以上）　743pg/mL未満 |
| | | 成人　450pg/mL未満 |

*******************************************************
ご依頼の際は、臨床検査総合依頼書の指示事項欄に「TARC」とご記入ください。

## 「4」 ＫＭＬインフォメーション　3月～4月分のお知らせ

前回メールニュースを配信しました後から現在までに発行されました「ＫＭＬインフォメーション」についてお知らせ致します。

各インフォメーションにつきましては、医院様へ随時お届けしておりますが、ご確認などに活用して頂ければ幸いです。

2010年 3月 23日　保険点数の改定について
http://www.kml-net.co.jp/pdf/2010-0323.pdf

2010年 3月 29日　検査内容変更のお知らせ
http://www.kml-net.co.jp/pdf/2010-0329.pdf

2010年 4月 1日　ＫＭＬメールニュース配信申し込み
http://www.kml-net.co.jp/pdf/2010-0401.pdf

2010年 4月 20日　ゴールデンウィーク期間中のご案内
http://www.kml-net.co.jp/pdf/2010-0420.pdf

2010年 4月 28日　検査内容変更のお知らせ
http://www.kml-net.co.jp/pdf/2010-0428-02.pdf

2010年 4月 28日　診療報酬改定にともなう受託中止と新規受託のお知らせ
http://www.kml-net.co.jp/pdf/2010-0428-01.pdf

■□＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

最後までお読み頂きまして有り難う御座いました。

編集／発行　http://www.kml-net.co.jp/
株式会社　京浜予防医学研究所
〒211-0042　神奈川県川崎市中原区下新城1-13-15

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝□■